



平成 25 年 4 月 9 日  
国際協力機構 (JICA)  
カンボジア事務所

## カンボジアで中等理数科教育の支援プロジェクト開始

2013 年 3 月 27 日、カンボジア政府教育・青年・スポーツ省 (MoEYS) と JICA との間で、「前期中等理数科教育のための教師用指導書開発プロジェクト」の合意文書が正式に交わされました。事業期間は 2013 年からの 3 年間で、5 月には日本から JICA の専門家が同省に派遣され、プロジェクトが始動する予定です。

カンボジアでは、1970 年代後半、ポル・ポト政権が行った学校教育制度の廃止と知識階層の粛清により、人材育成システムが崩壊しました。内戦終結後の 1990 年代以降、急速に教育へのアクセスを拡大させることで教育システムの復興を目指し、就学率は改善してきましたが、一方で、留年率、退学率の高さ、十分な知識と指導力のある教員の不足などの質的な課題が多く残っています。特に、産業の多角化を目指すカンボジアにとって、産業人材の育成につながる理数科教育の強化は重要な課題です。

そこで「前期中等理数科教育のための教師用指導書開発プロジェクト」では、以下の 2 つの活動によって中学校での理数科の授業の改善を図ります。

- ① 中学校の教員が日々の授業の指導の中で参考にできる副教材の開発
- ② 開発された副教材の活用方法を教員に指導するトレーナーの育成

カンボジアでは、教員は教科書を読み上げながらその内容を板書し、生徒は黙々とノートに書き写すという伝統的な授業スタイルがまだ多く残っています。その背景には教科書が十分に行き渡らないことなどがありますが、教員自身もこのような授業を受けてきたために、生徒の興味を引き出し思考力を育てるような授業を行うのは容易ではありません。また、一旦教職に就くと知識をアップデートする機会が少ないため、継続的に授業内容を改善することも困難な状況です。

このプロジェクトでは、日々生徒に接している教員が、自信を持って授業をできるような使いやすい副教材の開発とその活用方法をトレーニングするだけでなく、プロジェクトが終了しても、カンボジア政府主導でトレーニングを継続できるよう、トレーナーの人材育成にも力を入れる予定です。

<プレスリリース問い合わせ先>

JICA カンボジア事務所

金澤 祥子 (kanazawa.shoko@jica.go.jp)

Tel: +855-(0)-23-211-673

Fax: +855-(0)-23-211-675